

2011年3月期 第2四半期決算 (2010年4月～9月)

決算説明資料

タイヨーエレクトロニクス株式会社

SEGA-SAMMY
GROUP

2010年11月2日

本資料に記載された将来の予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実な要素を含んでおり、将来における実際の業績は大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

■ 決算ハイライト	2
■ 販売実績	3
■ PL・BS・CFの概要	4-6
■ 各種戦略およびTOPICS	7-10
■ 通期業績予想	11

販売台数

- パチンコ機販売は、「CRフルメタルパニック！TSR」が計画台数を達成したものの、「CRシンデレラボイ2～シンデレラコードを奪還せよ～」は計画台数を下回り、更に1機種を第3四半期に持ち越した結果、前年同期実績および期初予想を下回る販売実績となった。
- パチスロ機販売は、1機種を下期以降に持ち越したものの、上期戦略機種であるパチスロ「リングにかける1～黄金の日本Jr. 編～」が市場からの評価を得て計画台数を大幅に上回った結果、前年同期実績及び期初予想を大幅に上回る販売実績となった。

	‘10/3期上期	‘11/3期上期	増減台数	期初上期予想
パチンコ機販売台数	48,653台	28,356台	▲20,297台	40,000台
パチスロ機販売台数	1,806台	35,019台	+33,213台	25,000台
合計販売台数	50,459台	63,375台	+12,916台	65,000台

業績

- 販売台数の増加・販売収益率の向上・部材ロスの削減・経費の削減により、各利益は前年同期実績を上回った。また、販売台数は減少したものの、販売単価の上昇等により売上高は期初予想を上回り、各利益は期初予想を大きく上回った。

(単位:百万円)

	‘10/3期上期	‘11/3期上期	増減額	期初上期予想
売上高	15,346	21,079	5,733	18,050
営業利益	3,025	4,236	1,211	1,630
経常利益	3,023	4,243	1,220	1,640
四半期純利益(累計)	2,382	2,488	105	950

■パチンコ機:「CRフルメタルパニック!」は販売計画台数を達成。「CRシンデレラボーイ2～シンデレラコードを奪還せよ～」は計画台数を下回り、更に1機種を第3四半期に持ち越し、上期販売台数合計は期初予想を下回る。

■パチスロ機:「リングにかけろ～黄金の日本Jr. 編～」が計画台数を大幅に上回り、パチスロ全体での期初予想を上回る。

当期 (11 / 3 期)	1Q	2Q	上期
パチンコ機	13,466台	14,890台	28,356台
主な販売機種	・シンデレラボーイ2	・フルメタルパニック	2シリーズ ※1シリーズ持ち越し
パチスロ機	252台	34,767台	35,019台
主な販売機種		・リングにかけろ	1シリーズ ※1シリーズ持ち越し

【ご参考:前期実績】

前期 (10 / 3 期)	1Q	2Q	上期
パチンコ機	34,248台	14,405台	48,653台
主な販売機種	・萌えよ剣2 ・八代亜紀2	・Blood+ ・萌えよ剣2(ハネデジ)	3シリーズ
パチスロ機	0台	1,806台	1,806台
主な販売機種		・真・女神転生	1シリーズ

(単位:百万円、%)

	2009/3上期		2010/3上期			主な増減内容
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	
売上高	15,346	100.0	21,079	100.0	5,733	【販売台数】 ①パチンコ機新台 ▲24千台 ②パチンコ機面替 4千台 ③パチスロ機 33千台
パチンコ機(新台)	12,435	81.0	4,722	22.4	△7,713	
パチンコ機ゲージ盤(面替)	2,199	14.3	3,444	16.3	1,245	
パチスロ機	540	3.5	12,799	60.7	12,259	
その他	172	1.1	114	0.5	△58	
売上原価	9,148	59.6	12,750	60.5	3,602	【売上総利益の概算分析】 ■量的増加 +17億円 (販売台数の増加等) ■質的増加 +5億円 (販売単価の上昇・原価低減等)
売上総利益	6,197	40.4	8,329	39.5	2,132	
販売費及び一般管理費	3,172	20.7	4,092	19.4	920	
営業利益	3,025	19.7	4,236	20.1	1,211	【主な販管費の増減内容】 ①販売手数料 +3.4億円 ②設置手数料 +1.8億円 ③開発費 +1.5億円 ④人件費 +1.3億円
営業外損益	△2	△0.0	6	0.0	8	
経常利益	3,023	19.7	4,243	20.1	1,220	
特別損益	△46	△0.3	△27	△0.1	19	
法人税等	593	3.9	1,726	8.2	1,133	
四半期純利益(累計)	2,382	15.5	2,488	11.8	106	
パチンコ・シリーズ数	3シリーズ		2シリーズ			
パチンコ・販売台数	48,653台		28,356台			
パチスロ・シリーズ数	1シリーズ		1シリーズ			
パチスロ・販売台数	1,806台		35,019台			

(単位:百万円)

	2010/3末	2010/9末	増減額	主な増減内容
流動資産	19,015	28,415	9,400	
現金及び預金	10,699	9,224	△1,475	
受取手形・売掛金	4,621	17,104	12,483	パチスロ機販売による債権増加
たな卸資産	1,181	974	△207	厳密な在庫管理
有価証券	2,000	—	△2,000	譲渡性預金 満期解約
固定資産	3,799	5,902	2,103	
有形固定資産	2,726	4,739	2,013	新工場の取得
無形固定資産	80	220	140	
投資その他の資産	991	942	△49	
資産合計	22,814	34,318	11,504	
流動負債	6,789	16,187	9,398	未払法人税等の増加 15億円
支払手形・買掛金	3,742	10,554	6,812	パチスロ機部材仕入による債務増加
短期借入金	1,000	1,000	—	
固定負債	1,129	1,096	△33	
負債合計	7,919	17,284	9,365	
純資産合計	14,895	17,033	2,138	
負債・純資産合計	22,814	34,318	11,504	

(単位:百万円)

	2009/3上期	2010/3上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,197	△734	△3,931
税引前四半期純利益	2,976	4,215	1,239
売上債権等の増減	△1,661	△12,482	△10,821
たな卸資産の増減	1,097	206	△891
仕入債務の増減	△61	6,624	6,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,517	△309	2,208
有価証券の増減	△2,000	2,000	4,000
設備投資による支出	△499	△2,297	△1,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△376	△220
配当金の支払い	△112	△339	△227
現金及び現金同等物の増加額	522	△1,420	△1,942
現金及び現金同等物の期首残高	9,239	10,644	1,405
現金及び現金同等物の期末残高	9,762	9,224	△538

タイヨーエレクトリックブランド向上に向けたヒット機種をリリース

‘10年9月 パチスロ「リングにかけろ1～黄金の日本Jr. 編～」



「最強メンバーで帰ってきたぜ！！」

パチスロの絶対王者へ！
チャンピオンの座は決して譲らない！

巨匠・車田正美が描く大ヒットボクシング漫画「リングにかけろ1」、今回の戦いは黄金の日本Jr. vs. 各国のJr.代表選手！黄金の日本Jr.たちは勝利をつかむことができるのか！？今、戦いの火ぶたが切って落とされる！

『進化したBONUS』
『NEW BATTLE ART』
『第4のBONUS』

が融合して生み出されるかつてない衝撃に興奮がとまらない！

充実のやり込み要素「マイスロ」機能搭載。

「～ただの後継機なら
出さなかった～」



© 車田正美／集英社・東映アニメーション © Sammy

© TAIYO ELEC All Rights Reserved.

‘10年5月 「CR シンデレラボーイ2～シンデレラコードを奪還せよ～」



©2003 モンキー・パンチ/シンデレラボーイ製作委員会

あの2人が帰ってきた！

モンキー・パンチ原作の「シンデレラボーイ」がパチンコで再び登場。今度は、乱馬ver.とレラver.の2つの新感覚ミドルとなって帰ってきた！

レラver.は、さらに進化した転落抽選システムと16R大当たり比率65%の熱いライトミドル。共に搭載される新感覚のアクティブミッションは、報酬ゲットで激アツの展開へ！遂に交錯する二つの運命！2つのミドルで「シンデレラボーイ」ワールドを体感せよ！

‘10年9月 「CRフルメタルパニック！TSR」



© 賀東招三・四季童子／Full Metal Panic! Film Partners

売上累計700万部を超えるライトノベルズ界の人気作品「フルメタル・パニック!TSR」がパチンコで登場。

アニメ製作の最新技術をフル活用した美麗映像と、迫力の3D映像で展開される超戦闘アクションはまさに圧巻！

通常大当たり後に突入するファルケモードで大当たりを引くことができれば、最強のラムダドライバモードに突入！最強性能を体感せよ！

販売体制の強化

■主要支店に販社課を設置

代行店とのリレーションを強化する為、大都市圏の支店（東京支店・名古屋支店・大阪支店・福岡支店）に代行店様専用窓口として、販社課を開設。

プロモーション展開の強化

■大型タイトル販売に向け大商談フェアを実施

「CRシンデレラボーイ2～シンデレラコードを奪還せよ～」の販売において、お客様とのリレーション強化及び綿密な商談を目的とした大商談フェアを実施致しました。通常の内覧会とは異なる雰囲気の中、豪華景品が当たる抽選会などの催しが好評を博しました。

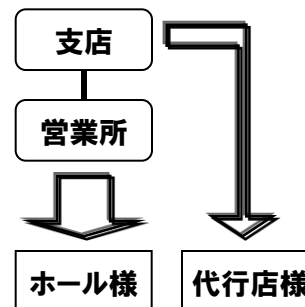
■ディファ有明にてインナー向け製品説明会を実施

戦略機種であるパチスロ「リングにかけろ1～黄金の日本Jr.編～」において、弊社営業マン・販売代行店様向け製品説明会を、日本初の格闘技専用アリーナ「ディファ有明」で実施することにより、販売に向けたモチベーションアップを行いました。

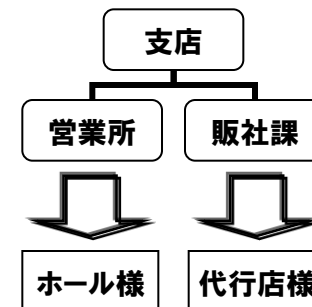
■後樂園ホールにてプレス発表会を実施

数々の名勝負が生まれた格闘技の聖地「後樂園ホール」にて、パチスロ「リングにかけろ1～黄金の日本Jr.編～」プレス発表会を実施致しました。幾多の歴史あるバトルが繰り広げられてきたリング中央に演台が配置され、本機種に込めた熱い思いと製品の詳細を発表致しました。

《～2010年3月》



《2010年4月～》



生産能力の大幅増強を実現。

瀬戸工場 操業開始

平成22年6月新工場を取得し、7月にパチスロ機工場を瀬戸へ移転、稼動を開始しました。
これによりパチスロ機の生産能力は従来の3倍、日産(定時)1,500台の生産を可能にしています。
また、今期中にパチンコ機工場も移転予定です。



CSR活動の推進。

CSR活動

4月
実施

本社東側の見寄公園(名古屋市西区)に1999年から毎年公園の美化を目的に桜の植樹を寄贈。本年も実施し合計39本の桜を植樹しました。



9月
実施

セガサミーグループで、国際協力へ参画。社員より本やCD、衣服等を提供・換金し、社団法人シャンティ国際ボランティア会を通じて子どもの図書がほとんど出版されていない国々(カンボジア、ラオス等)へ絵本を届ける、「絵本を届ける運動」に参加しました。



10月
実施

庄内緑地公園(名古屋市西区)にて開催された「タイヨーエレクト ナゴヤアドベンチャーマラソン2010」に冠スポンサーとして協賛しました。この大会は名古屋市内を走る唯一の市民フルマラソンで、約2000名のランナーと300名のボランティアが参加。また会場で、当社社員もボランティアとしてお手伝いさせて頂きました。



(単位:百万円、%)

	2009/3期		2010/3期		2011/3期(予想)						
	実績	百分比	実績	百分比	上期実績	百分比	下期予想	百分比	通期予想	※()内は期初予想	増減額
売上高	14,307	100.0	24,190	100.0	21,079	100.0	12,021	100.0	33,100 (34,100)	100.0	8,910
営業利益	405	2.8	3,773	15.6	4,236	20.1	314	2.6	4,550 (3,860)	13.7	777
経常利益	474	3.3	3,776	15.6	4,243	20.1	327	2.7	4,570 (3,890)	13.8	794
当期純利益	410	2.9	3,640	15.0	2,488	11.8	162	1.3	2,650 (2,280)	8.0	▲990
配当金	5円		15円		—		15円		15円		
パチンコ・シリーズ数 パチンコ・販売台数	5シリーズ 44,491台		6シリーズ 72,295台		2シリーズ 28,356台		3シリーズ 40,000台		5シリーズ 68,356台		
パチスロ・シリーズ数 パチスロ・販売台数	2シリーズ 6,268台		3シリーズ 11,528台		1シリーズ 35,019台		1シリーズ 6,000台		2シリーズ 41,019台		



<http://www.taiyoelec.co.jp/>

【免責事項】

本資料における市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。

※本資料に記載されている会社名及び製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

参考資料

会 社 名	タイヨーエレック株式会社
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 英理子
本 社 所 在 地	愛知県名古屋市西区見寄町125番地
設 立	1973年7月11日
株 式 上 場	2001年4月11日(大証・JASDAQ:6429)
事 業 内 容	パチンコ・パチスロ遊技機の開発、製造、販売
資 本 金	5,125百万円(2010年3月31日現在)
売 上 高	24,190百万円(2010年3月期)
経 常 利 益	3,776百万円(2010年3月期)
従 業 員 数	280名(2010年3月31日現在)
主 要 株 主	サミー株式会社(51.24%)、佐藤英理子(11.58%) ※()内の割合は議決権比率



(2010年3月31日現在)

年 月			沿 革
昭和	48年	7月	アレンジボール機の製造及び販売を目的として名古屋市西区見寄町において太陽電子株式会社(現・タイヨーエレクトリック株式会社)を資本金5百万円で設立
昭和	49年	7月	名古屋支店開設
昭和	58年	5月	東京支店開設
昭和	59年	2月	仙台支店開設
昭和	59年	9月	事業拡大に伴い本社・本社工場新築
平成	元年	5月	ヒット機種「ワイワイワイ」発売
平成	2年	4月	株式会社ヘイタックを資本金60百万円で設立(当社出資比率33.3%)
平成	3年	1月	新本社社屋完成(現・東館)
平成	3年	12月	アンテナショップとしてパチンコホール「DAILY SPOT いつものところ」開設
平成	5年	4月	大阪支店開設
平成	5年	6月	株式会社ヘイタックを当社出資比率100%とし子会社化
平成	5年	7月	開発センター新築
平成	7年	12月	ヒット機種「CRそれゆけ浜ちゃん2」発売
平成	8年	7月	太陽電子株式会社をタイヨーエレクトリック株式会社へ商号変更
平成	8年	7月	株式会社ヘイタックを太陽電子株式会社へ商号変更
平成	9年	12月	パチンコ業界初の10インチ液晶画面使用による新機種「CR海底天国7」発売
平成	10年	3月	パチンコホール「DAILY SPOT いつものところ」売却によりホール部門廃止
平成	10年	12月	新本社工場完成
平成	13年	4月	日本証券業協会に株式を店頭登録

年 月			沿 革
平成	13年	7月	福岡支店開設及び千葉営業所開設
平成	13年	8月	本社本館新築
平成	14年	9月	7年ぶりにアレンジボール遊技機(アレバチ)「CRアレバッチン」発売
平成	15年	7月	横浜営業所(現・横浜支店)開設
平成	15年	10月	子会社太陽電子株式会社を吸収合併
平成	15年	11月	札幌支店開設
平成	16年	2月	次世代遊技機「CRアレバチアポロ1号」発売
平成	16年	12月	株式会社ジャスダック証券取引所(現・株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場)に株式を上場
平成	17年	5月	神戸営業所開設
平成	17年	6月	愛・地球博「P-Forest」に骨伝導パチンコ、リサイクルパチンコを提供
平成	17年	9月	イトレックジャパン株式会社との業務提携を締結
平成	18年	3月	イトレックジャパン株式会社との共同開発第一弾「CR五右衛門」発売
平成	19年	3月	サミー株式会社との事業・資本提携締結(新資本金2,881百万円)
平成	19年	8月	さいたま営業所開設
平成	19年	12月	サミー株式会社に対する第三者割当増資実施、連結化となる(新資本金5,125百万円)
平成	20年	9月	ジャスダック証券取引所(現・大阪証券取引所)制度信用銘柄に選定
平成	20年	9月	イトレックジャパン株式会社との業務提携を期間満了により解消
平成	21年	5月	広島支店開設
平成	22年	7月	瀬戸工場開設

【独自性の拡大】ソフト開発力・全国営業力

タイヨーエレクトクの強みをグループ・プラットフォーム上で集中強化

ソフト開発力の強化

- 独自の開発手法を強化・発展
- ゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性の追求
- パイオニア精神による他社との差別化を徹底
- リソース(開発者・開発費)の拡大

全国営業力の強化

- 長年培ってきた直販先・販社との連携強化
- 法人戦略/エリア戦略の構築
- 広告宣伝強化によるブランド力向上
- リソース(拠点・営業マン・宣伝費)の効率的運用

【提携戦略】成長へのプラットフォームを構築

ハードの利用

- サミー製パチスロ機筐体の利用
- 液晶等電子関連汎用部材の共通化
- リユース体制の構築

情報の共有

- 販売ノウハウの共有
- 広告宣伝ノウハウの共有
- 製品品質検査体制の構築

コンテンツの活用

- グループ保有著作権の有効活用
- グループ力による有力著作権の取得
- 携帯サイト等コンテンツ二次展開

事業環境認識

- ・プレイヤー人口の減少および個人消費の悪化により、遊技機業界も厳しい状況が継続。
- ・ホールは、より慎重な導入機種を選定を行い、特定機種に集中化する傾向。
- ・メーカー間の競争はさらに激化するものと予想。

2011年3月期事業方針

「タイヨーエレクトクブランド向上に向けたヒット機種の開発・販売強化」

開発力強化

- (ヒット機種) キラーコンテンツを生み出すため、積極的な開発投資の実行
- (開発効率) パチンコ機6機種以上・パチスロ機3機種以上の開発実行
- (パチスロ機) サミー社との提携による有力パチスロ機の開発

販売力強化

- (ブランド力) 効果的なプロモーション展開による競争力の向上
- (サービス力) 営業拠点リニューアル等による集客力の向上
- (組織力) 直販(支店/営業所)及び代行店サポート体制の再構築

生産力強化

- (生産体制) 短納期・大量生産・高品質に対応した生産体制の見直し



© 車田正美 / 集英社・東映アニメーション © Sammy

中期目標感

「中期的にトップシェアグループ入りを目指す」

販売台数: 20万台以上

売上高: 500億円以上

経常利益率: 15%以上

開発スキームの強化

■安定的な業績達成に向け、開発スキームを再構築

①適合率の向上⇒販売機種数増加

年間パチンコ6機種以上・パチスロ3機種以上の市場投入を実現すべく、外注利用や効率化を進め、計画に合わせた機種投入により業績の安定化を図る。

②海外生産を見据えた設計⇒原価低減

原価の低減を図るため、設計段階から低コストの海外生産を見据えた開発計画を構築し、品質・コストの両面からの検証を実施する。

③部材の共通化⇒原価低減・廃棄率低減

部材廃棄ロスの低減を図るため、開発機種間での共通化及びサミー社との部材共通化を図る。

研究開発

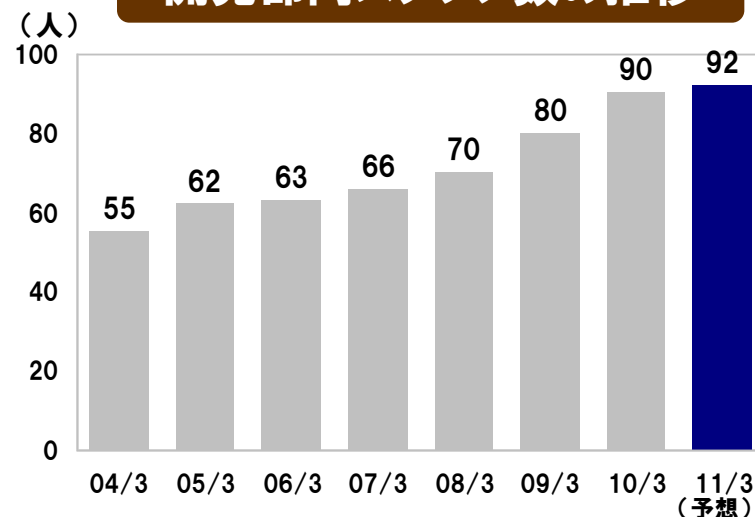
■パチスロ開発

サミー社との提携による有力パチスロ機の開発を行う。

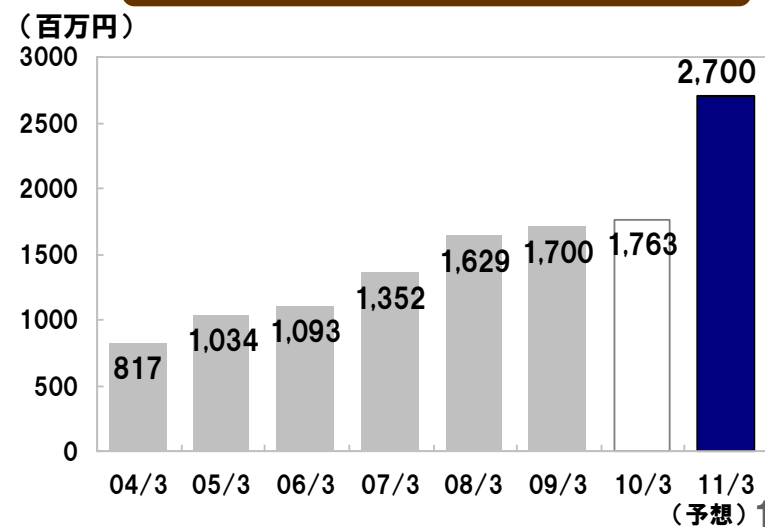
■研究開発投資の拡大

・経費全体を見据えながら、将来への投資となる人員及び新機種開発予算を積極的に拡大。

開発部門スタッフ数の推移



研究開発費の推移



販路拡大

- 互いの営業ノウハウを共有した全国ホール様への積極的アプローチ
- ブランド独自性を維持したマルチチャネル販売(パチスロ伝説の巫女にて実践済)

IPの育成・創造

- 両社保有著作権の有効活用・両社協調による有力著作権の取得
- セガサミーグループ・オリジナルIPの創造・育成への参画

広告宣伝強化

- 各種媒体での効率的なグループ広告宣伝展開
- アンテナショップ展開などによるホール様との関係強化

部材共通化

- サミー製パチスロ筐体を使用したパチスロ開発加速化
- パチンコ・パチスロ部材共通化によるコストダウン

リユース

- 環境に配慮したリユース部材の拡大
- サミーグループ各社との共同リユーススキームの構築

品質強化

- サミーと連携した強固な品質検査体制の構築
- ホール様に対する万全なるアフター体制の強化

新市場創出

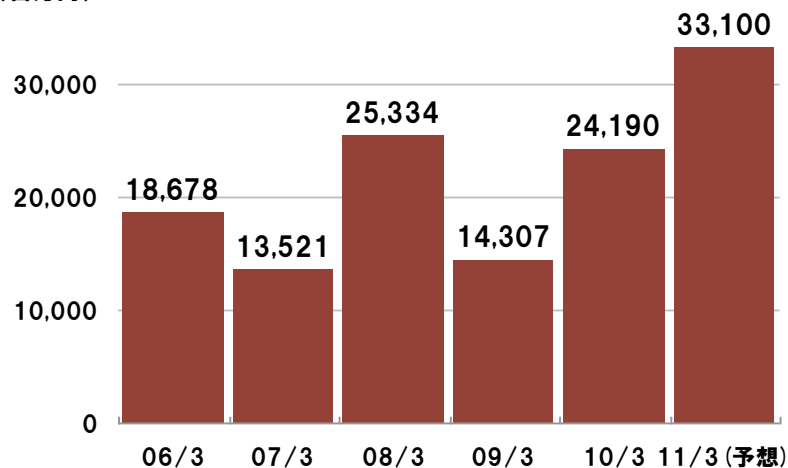
- 両社共有のパイオニア精神に基づき、業界活性化・多様化を促進する新市場を創出

時 期	事業提携に関する事項		提 携 効 果
07/3・12	【財務強化】	サミー株式会社に対する第三者割当増資	計81億円の資本増強
07/12	【販路拡大】	当社のパチスロ「伝説の巫女」をサミー社ルートで販売	1.1万台の販売実績
08/ 4～	【品質強化】	パチスロ豊橋工場の立ち上げ(グループリソース有効活用)	生産能力・効率の向上
08/10～	【新市場創出】	(株)サミーネットワークスと連携したモバイルコンテンツ/PCコンテンツ事業展開	コンテンツ事業の拡大
09/3～	【部材共通化】	汎用電子部材(液晶等)の共通化(CR八代亜紀2より実施)	クオリティー向上・原価低減
09/3～	【販路拡大】 【広告宣伝強化】	・営業推進室を新設(強化人員として12名の出向受入) ・営業企画部門の拠点を東京に設置	組織的販売体制の構築 効果的プロモーション活動
09/5～	【販路拡大】	エリア営業強化に向け、サミー社より営業人員30名程度の出向受入(当社の各支店・営業所に配置)	販売数の増加
09/8	【部材共通化】	サミー製筐体パチスロ機「真・女神転生」の投入	クオリティー向上・原価低減
09/10	【販路拡大】	サミー製パチスロ機「ベルサイユのばら」を当社販売ルートで販売	販売機種数・販売数の増加
10/9	【販路拡大】	サミー製筐体パチスロ機「リングにかける1～黄金の日本 Jr. 編～」を販売	クオリティー向上・原価低減
10～	—	今後も各分野で提携事業が進捗中	



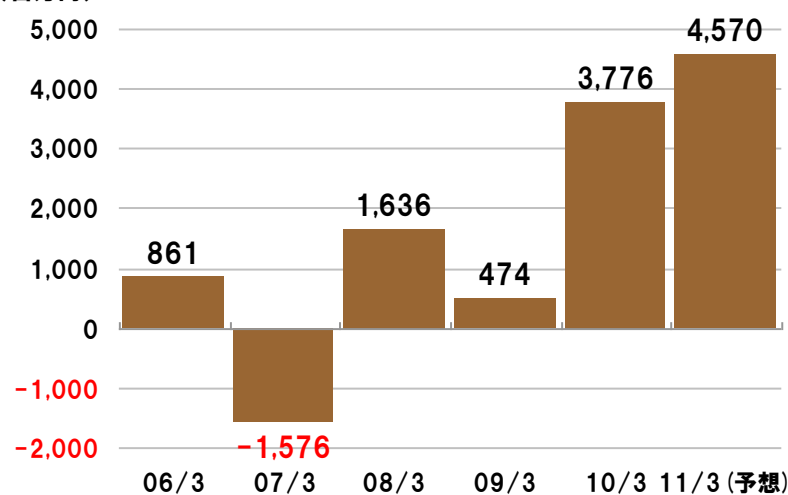
売上高

(百万円)



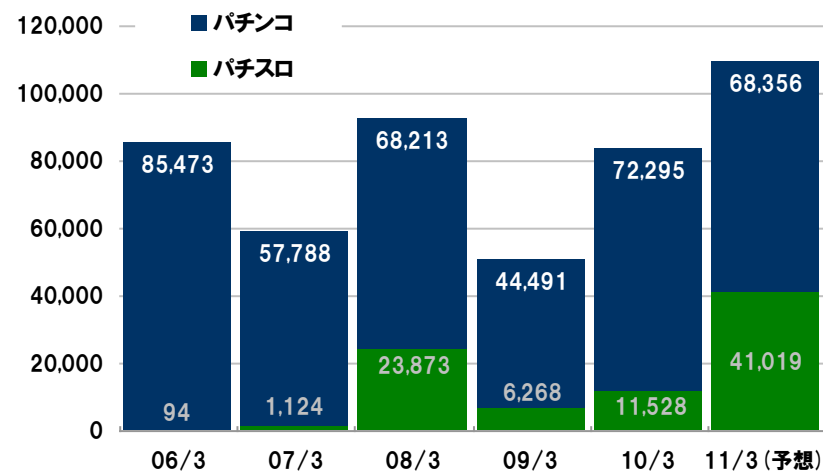
経常利益

(百万円)



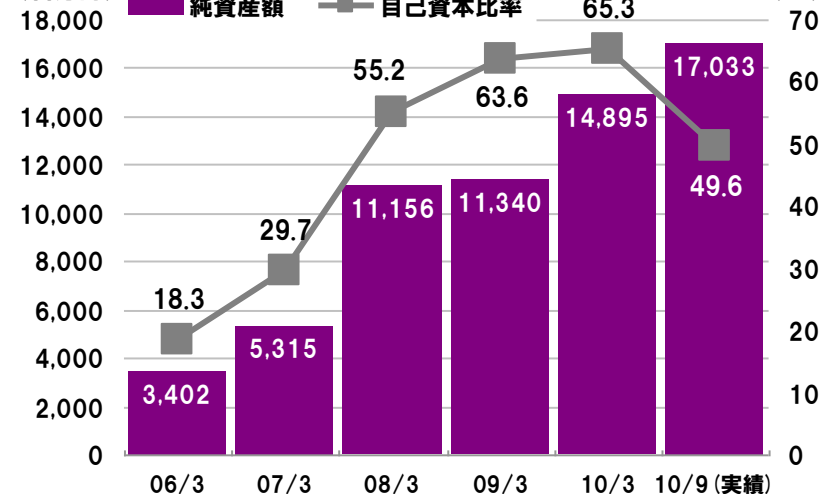
販売台数

(台)

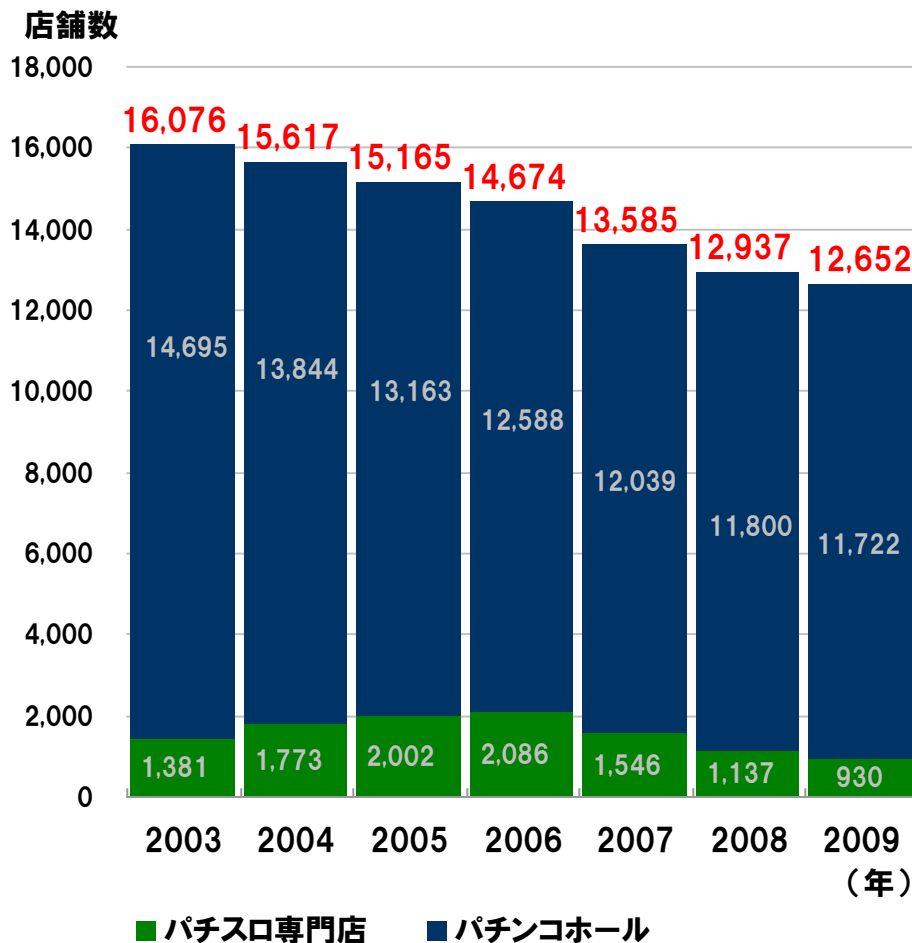


純資産額・自己資本比率

(百万円)



パチンコホール・パチスロ専門店の店舗数推移



出所: 矢野経済研究所

パチンコ機・パチスロ機の設置台数の推移

